

くすりのしおり

内服剤

2014年12月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：セフジニルカプセル50mg「ファイザー」

主成分：セフジニル(Cefdinir)

剤形：淡赤色/淡赤色のカプセル剤、長径11.1mm

シート記載：（表）セジニルカプセル50mg「ファイザー」、セフジニル、50mg、M484
（裏）CEFDINIR Cap. 50mg[Pfizer]、セフジニル、50mg



この薬の作用と効果について

細菌の細胞壁合成を阻害することにより増殖を阻害し抗菌作用を示します。感染症の治療に用いるセフェム系の抗生物質です。

通常、呼吸器感染症、皮膚感染症、耳鼻科感染症、尿路感染症など広い範囲の感染症の治療に使用されます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- 妊娠または授乳中
- 他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- あなたの用法・用量は << :医療担当者記入>>
- 通常、成人は1回2カプセル〔主成分として100mg（力価）〕を1日3回服用します。治療を受ける疾患や年齢・症状に応じて適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- 飲み忘れた場合は、気がついた時、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次に通常飲む時間が近い場合は1回とばして、次の通常の服用時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- 粉ミルク、経腸栄養剤など鉄添加製品と併用すると、便が赤くなることがあります。
- 尿が赤くなることがあります。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、じん麻疹、かゆみ、発熱、浮腫、紅斑、下痢、腹痛、胃部不快感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- めまい、発汗、呼吸困難[ショック、アナフィラキシー様症状]
- 発熱、水疱、赤い発疹[皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症]
- 紫斑、だるい、発熱[汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、溶血性貧血]
- 発熱、から咳、呼吸困難[間質性肺炎、PIE症候群]
- 全身がだるい、食欲がない、皮膚や白目が黄色くなる[劇症肝炎、肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。